

《学校教育目標》

自ら考え、責任をもって判断・行動し、たくましく生きる蒲池っ子の育成

※令和8年度義務教育学校設立に向けて小中統一目標

【教育課題】

- 主体的な態度の育成
 - ・学習面、生活面、仲間づくり面で
- 確かな学力の定着
 - ・個別最適な補充
 - ・CD層の底上げ
- 自己肯定感の向上
 - ・自己決定感、自己有用感の向上
- 郷土愛の育成

【経営課題】

- 重点目標達成に向けた組織の機能化
 - ・子どもに委ねる魅力ある取組
- 授業力向上
 - ・授業改善の取組の日常化
 - ・校内OJTの推進
- 学級経営力の向上
 - ・配慮を要する児童への対応
 - ・支持的風土のある学級経営

《中期的な目標》R7 自ら考え、進んで行動する子どもの育成

※蒲池中学校中期的な目標「適切に判断し、責任ある行動ができる生徒」

【重点目標】 自ら考える子どもの育成

《取組指標》

☆学び☆

- ・自分でめあてをつくることのできる【8割】
- ・自分の考えの理由や根拠を明らかにして友達と対話する【8割】

☆仲間☆

- ・目標をもって取り組み、振り返ることができる【8割】
- ・考えやアイデアを出しながら、友達と協力して活動する【8割】

☆生活☆ (蒲池中校区スタンダード)

- ・めあてをもち、学校内外で心のこもった挨拶をする【9割】
- ・めあてをもち、時間いっぱい黙って隅々まで掃除をする【9割】

【経営の重点】

「協働・創造・子ども理解」の組織運営

- 育成3部会で子どもに委ねる魅力ある取組を生み出す
- 主任を中心とした企画運営
- 「ふるさと『やながわ』学習プログラム」の充実に向けた教育課程経営、推進部の機能化
- 学び合う教職員集団
- ◆独自実践の推進

【重点目標達成に向けた具体的な方策】

- 1 子どもが主体となる授業づくり
 - ①確かな教材研究に基づいた授業
 - ・課題意識を持たせる導入の工夫
 - ・必然性のある対話のための発問の工夫
 - ②対話場面の設定
 - ・ねらいにせまるための対話場面の設定
 - ・CD層を授業に参加させるための対話場面の工夫
 - ・ペア、グループ等の効果的な設定
 - ③ICTを活用した授業づくり
 - ④学びの基盤づくり
 - ・学び部会の取組(書く・話す)の共通実践
 - ・個別最適な補充、家庭学習の共通実践
 - ・視覚化による蒲池校区スタンダード定着
- 2 子どもが主体となる仲間づくり
 - ①目標設定(個人で、友だちと)を行う
 - ②振り返りにより自己有用感を高める
 - ③学級スローガン設定と仲間部会の取組充実
- 3 自己肯定感を高める学級経営
 - ①子ども理解(子どもに寄り添うスタンス)
 - ②美点凝視、多面的に子どもを把握
 - ③教育相談の充実

【経営の重点についての具体的な方策】

- 1 協働的な組織運営の機能化
 - ①育成3部会の機能化
 - ・「学びづくり部」「生活づくり部」「仲間づくり部」の3部会で組織
 - ・3部会→近接学年部会の開催による目標共有、協働実践、評価、改善(PDCAサイクルの機能化)
 - ・部長会議による創造的な活動の検討
 - ・取組の視覚化
 - ②特別活動の充実
 - ・主任を中心としたチームによる組織運営
 - ・子どもに委ねる児童会活動
 - ・子ども主体の学校行事企画・実施
 - ③郷土学習の充実
- 2 授業力、学級経営力の育成
 - ①校内研修による授業づくりと研修の日常化
 - ②重点授業による授業力向上
 - ③授業チェックシートによる授業改善
 - ④校内OJTの組織化と推進
 - ④学級活動(1)の充実
 - ・学級会の授業公開による学び合い
 - ・教室掲示の共通実践
 - ⑤人権・同和教育の充実

【重点目標達成に向けた校内研修の充実】

- 1 主題研修 重点目標達成に向けて
 - 「主体的に学びに向かう子どもを育てる学習指導」副主題・導入の工夫、対話活動の位置づけ
- 2 一般研修 個々の力量を高める
 - ・不祥事防止、危機管理に関する研修
 - ・特別支援教育に関する研修
 - ・学力向上に関する研修
 - ・人権・同和教育に関する研修
 - ・ICT活用推進に関する研修
 - ・生徒指導に関する研修

